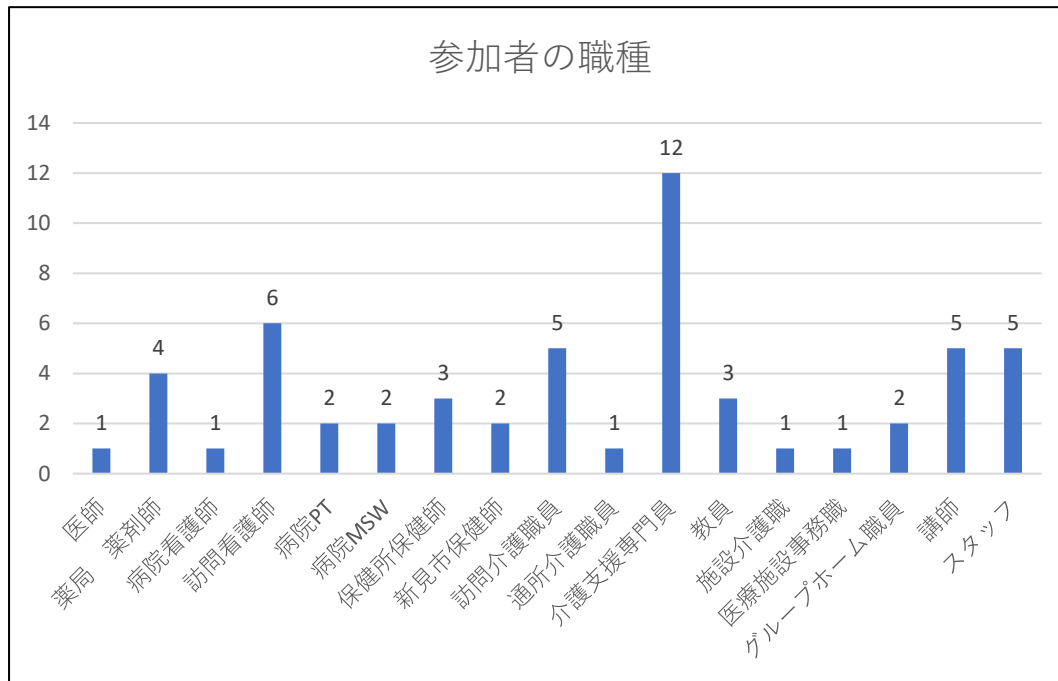


# 令和4年度第1回多職種連携会議・人材育成研修会研修後アンケート集計結果

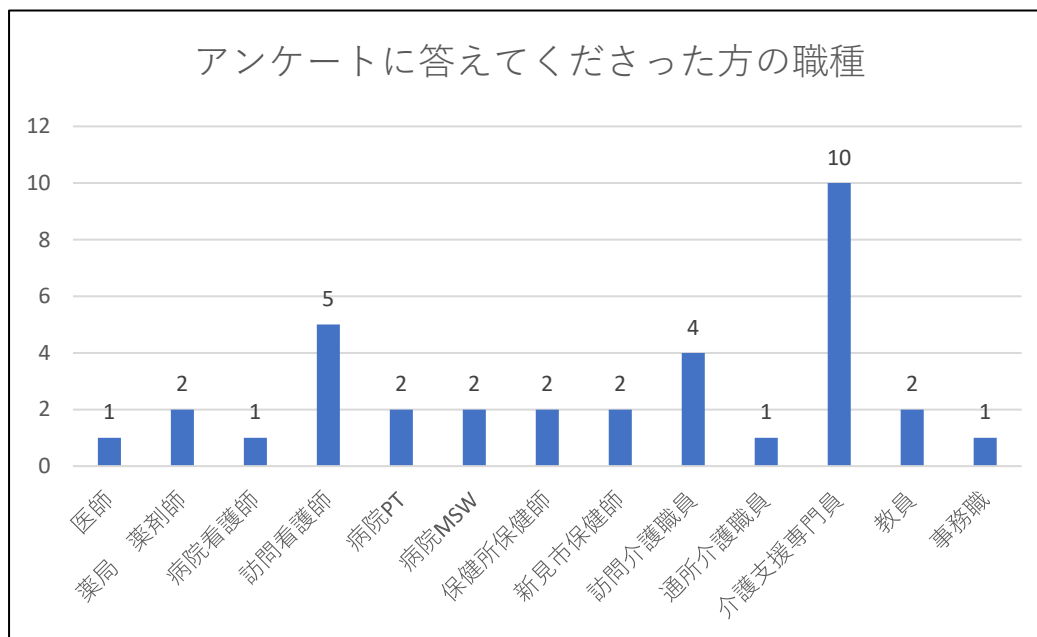
## 1 参加者の職種

参加者数：56人

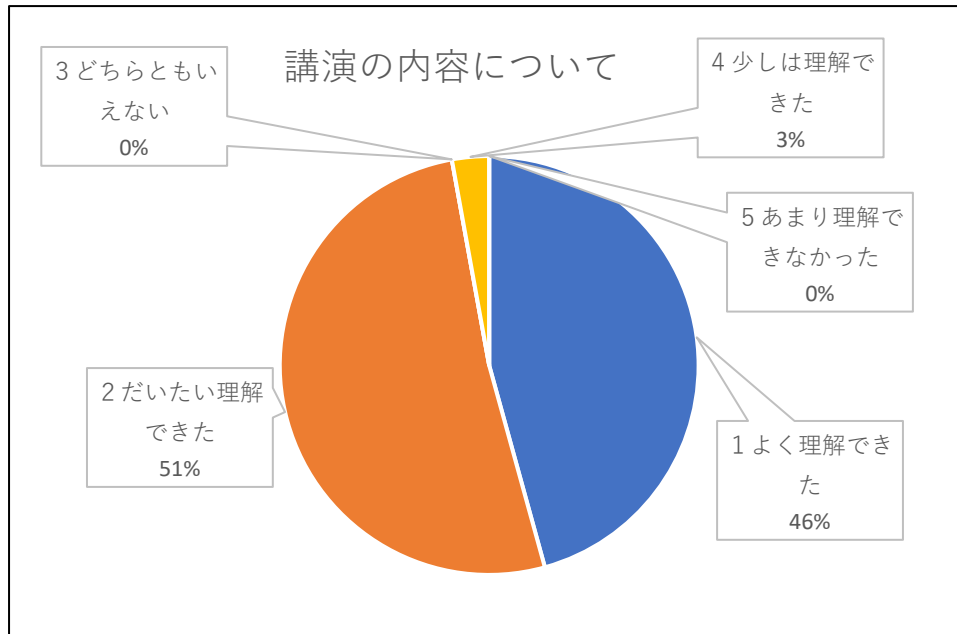


## 2 アンケート回答者の職種

回答者数：34人（会場参加：19人、ZOOM参加：15人）



### 3 講演の内容について



### 4 講演で学んだこと、考えたこと、防災で今後取り組みたいこと

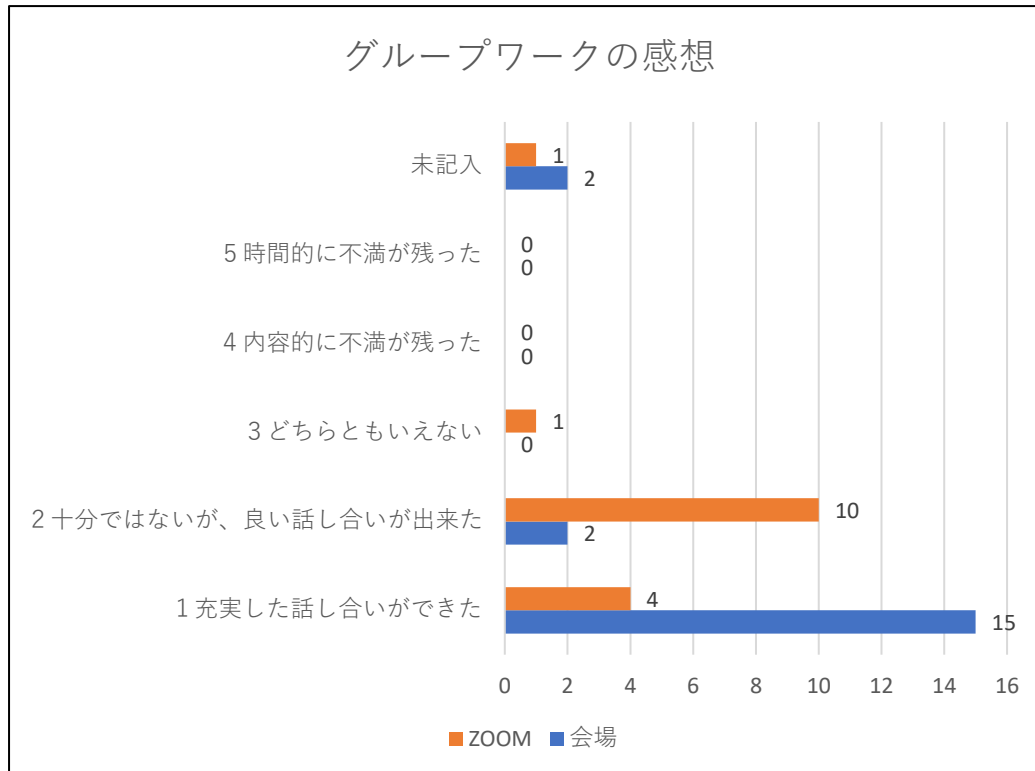
- ・いろいろな取り組み、体験談をお聞きできてものすごく勉強になりました。まず自分の避難計画を計画してみたいです。
- ・平常時の備えについて考えていきたいと思った。
- ・知らないことが多く、勉強になりました。災害、コロナどちらも考えると大変です。参考になりました。
- ・職業柄、取り組むべきこともあります。個人的に自分の住んでいる地域でも自主防災組織ができるように働きかけていきたいです。
- ・BCPの作成について自分自身の勤務する事業所でも悩んでいる中、とても参考になる講義でした。
- ・多職種間での情報共有が大切。普段から顔の見える関係を作っていきたい。
- ・できることから準備をしておくことが大切とわかった。担当者と普段から顔合わせをしていくことや、業務の見える化を行い、必ず業務しなければいけないこと、省力化できることの判断をしておくことが必要だと感じた。また、保健所で作成した避難計画は対象者に関わる支援者と共有し、評価をすることも必要だと思った。
- ・BCPについてどのように作成すればいいかわからなかったため、くろかみの計画はとても参考になった。
- ・日頃から防災について考えていきたい。
- ・ヘルパーだが、各家の状況がすべて違っているので、なかなか把握できないことが多い。災害の状況を見ながら、聞きながら行動できれば良いけど、自分の安全がなければ援助はできないので、とても難しい問題だと思います。
- ・近隣の施設(事業所)との情報交換などやっていかななくては、と思いました。ご利用者へのサービスを止めないために。
- ・地区での具体的な取り組み、施設等での取り組みを知ることができた。BCPについて具体的なことを知った。
- ・BCP策定、なんとなく形が分かった。
- ・早め早めの避難の呼びかけ。具体的な災害時マニュアルの作成。
- ・現実的な取り組みが必要だと感じました。他事業所の取り組み、特にくろかみの想定が参考になりました。

ありがとうございました。

- ・それぞれの機関での取り組みが知れて良かった。
- ・各事業所での災害の取り組みを学べた。くろかみでの取り組みを知り、自分のところでも参考にしたいところも多くありました。また、医師が地区での取り組みを知り、地域によっても違いますが、意識が高かかわっておられたと思いました。
- ・地域住民と連携した防災訓練を検討したいと思いました。災害時には行動がすぐにできないので訓練は大切。それぞれの人の病状や環境の違いがあるのでその人に合った災害時の行動や支援について考えておく必要を感じました。
- ・高齢者だけでなく、障害者(児)、ひとり親家族などへの防災対策も必要だと思った。
- ・段取りやおためしが必要と解った。
- ・「石蟹地区の自主防災会の取り組み」については、このような活動をしていることを知りませんでした。災害を経験したところ、それぞれで対策をしているのだなと思いました。特に独居の方は、災害時は不安だと思うので、訪問時に避難先の確認や何かの時の対策について話をしないといけないと思いました。
- ・業種別に災害の備えも様々ありますが、いざという時の備えの大切さを改めて自覚。くろかみさんの「ガスバルク」の備えについては「すごいな」と思いました。今年中にBCP策定努力、義務の位置づけもあり、みなさんそれぞれ尽力、訓練も大切です。このような会議において、各職種の取り組みを聴けることは大変参考になりました。
- ・各施設の対策が良く分かりました。
- ・まず防災は自分の足元からということで、非常用のグッズの準備。服薬している人については、お薬手帳を必ず忘れないように準備。仕事上では利用者さんの安否確認のやり方や優先順位を明確にしておく。あらかじめ避難場所を知っておく。ケアマネ間の連携やサービス事業所との連携をしていく必要がある。
- ・地域の自主防災会の取り組みが良く分かった。
- ・地域や施設内での防災対策の取り組み等についてとても良く分かりました。ありがとうございました。
- ・くろかみの取り組みや訪問看護の協力体制などを知り、私たちにできることは何かを考えさせられました。地域の防災マップを確認し、在宅療養者の方への避難場所やどのように避難するかなど事前に確認しあっておきたいと思いました。
- ・それぞれの施設で、自施設にあった防災に取り組んでいることがグループワークで理解できました。ただ、この地域は施設も少なくマンパワーも少ないところ。これまでの研修で感じたように、“連携が必要”と改めて考えました。
- ・各施設で実際の防災訓練をどのように実施しているかをもっと知りたかった。
- ・危機管理室の長田様の講演で、市が何に取り組んでいるのか、現状を知ることができた。自分が住んでいる地域の状況を改めて確認したり、職場での備えを見直す良い機会になりました。
- ・実際の災害に応じた臨機応変な対応が重要。決められた避難場所だけではなく、より安全な行動がとれるよう、各自が備え、日頃から話し合いを、コロナ禍の今だからこそ重ねていくことが重要。地域に住む一員として、食料の備蓄など一人一人の防災意識の向上と日頃からの準備が重要。前回の豪雨災害の時に、両親とも職場関係の支援に行く状況だったので、残された家族への支援や安否確認等の対応も必要になると感じた。

## 5 講師の先生への質問については、後日公開いたします。

## 6 グループワークの感想



### 《理由：会場参加》

#### 1 「充実した話し合いが出来た」と答えた方

- ・多職種の方と色々話げできた。
- ・それぞれの困りごと、課題を知ることができた。顔が見える関係、情報共有は大切。
- ・施設での取り組み、地域、公的な取り組み、様々な分野での考え方など、直接意見が聴けた。
- ・それぞれの事業所でのBCPの進み具合、災害時の対応等、参考になった。
- ・各職種で考えておられること、自分でも考えておかなければならない事がわかった。
- ・多職種の方のご意見がうかがえたので。
- ・グループメンバーの方の経験談を伺うことができて、大変参考になりました。
- ・4年前の災害時の状況について、それぞれの立場で経験した内容を活発に意見交換できた。
- ・普段直接顔の見えない方たちと、各職種の立場での意見が聞けました。
- ・多職種で話すことで、色々な意見を聞くことができた。
- ・多職種の意見が聞けた。
- ・それぞれの職種の方の考えが聞けてよかった。

#### 2 「十分とはいえないが、よい話げできた」と答えた方

- ・グループとして意見はまとまっていないが、多職種で考えていることを知れて良かった。

#### ◇未記入の方

- ・いろいろな立場からの意見が聞けた。

### 《理由：ZOOM参加》

#### 1 「充実した話し合いが出来た」と答えた方

- ・ZOOM参加ではあったが、司会の方が進行をスムーズに行ってください、各参加者の方と具体的な意

見交換ができたから

- ・普段知ることがない他施設の取り組みを聞くことができたこと。
- ・それぞれの専門の仕事の中で取り組んでいる課題や対策、意見が聞けたから。
- ・各施設の状況を共有できた。

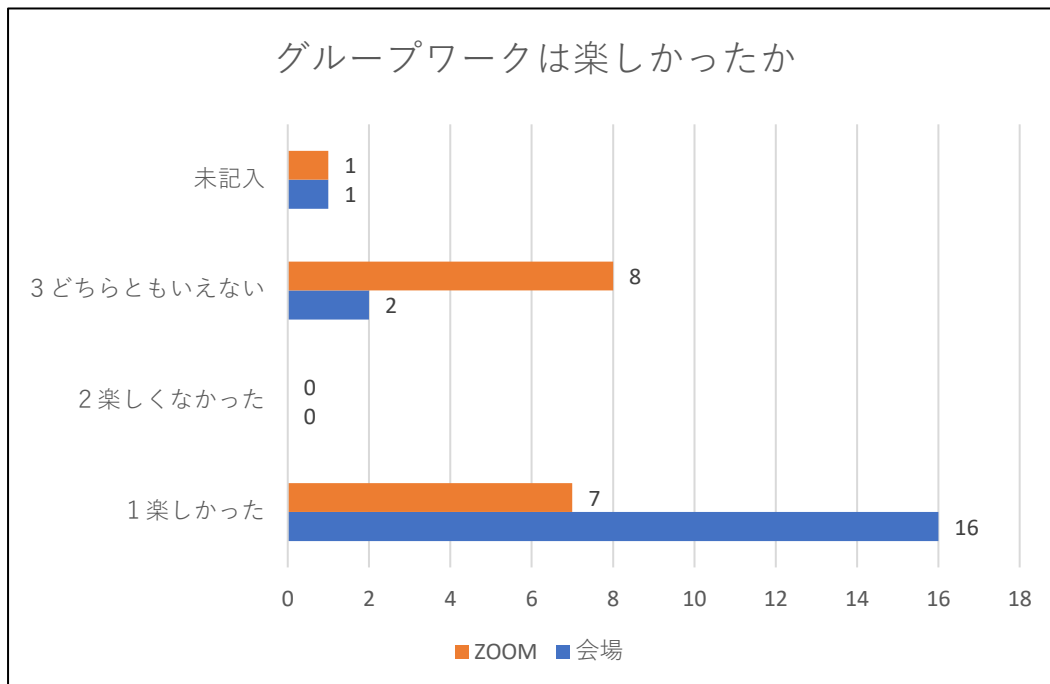
## 2 「十分とはいえないが、よい話があった」と答えた方

- ・書記をするため、十分に聞いたり、話せなかった。グループの人数は良いが、対面が良いと思いました。
- ・当初予定されていたグループとは別のグループに配置され戸惑った。テーマとは少し違う内容で話が進んだから。
- ・他の事業所の対応や考えが聞けて参考になった。
- ・職種が様々な人とグループワークが行え、自分の立ち位置からの防災への考えを聞くことができました。私は在宅支援に携わるものとして、まだまだ地域には状況を知ることのできていない方も居られるので、個別避難計画を早急に軌道に乗せ、情報共有に繋げていただければと感じました。
- ・時間が短かった。グループの人数が予定より少なく、人数的には十分でなかった。
- ・私の通信環境が悪く、途切れることが何度もありました。みなさん良い話ができているのに、うまく参加できなかったのが十分に参加できたとは言えません。
- ・それぞれの施設での取り組みを聞けたから。
- ・多職種であり、テーマも漠然としていたので初めは何をはなしてよいかわからなかった。
- ・グループワークのテーマにあった話は少しできなかった気がします。

## 3 「どちらともいえない」と答えた方

- ・活発な意見があまり出なかった。市役所の方から今後の避難確保計画、個別避難計画の話が聞けて良かった。

## 7 グループワークは楽しかったか



### 《理由：会場参加》

#### 1 「楽しかった」と答えた方

- ・目的が一緒に利用者等の立場に立った話だったため。
- ・様々な話を聞いたため。
- ・なかなか誌面通りの援助はできないかもしれない。
- ・多職種で話すことで色々意見を聞くことができた。
- ・みんな積極的に意見を出し合うことができたので。
- ・様々な情報共有や意見交換の場になった。
- ・いろいろな考え方を学びました。
- ・それぞれ思いがありそれを知ることができたので。
- ・多職種それぞれの立場で、日頃の様子や思いなど聞いた。
- ・司会の方が上手に話をまわしてくれた。
- ・少人数での話し合いができた。
- ・いろんな職種がいて楽しかった。実際に災害が起こった際には、職域を超えて自分自身、事業者、利用者を守れたらと思った。

### 3 「どちらともいえない」と答えた方

- ・発表は苦手です！

#### 《理由：ZOOM 参加》

### 1 「楽しかった」と答えた方

- ・聴きたいことなど気軽に質問することができたから。
- ・進行の人が上手に話をふってくださったので、参加しやすかったです。
- ・自由に討論できたため。
- ・ざっくばらんに話げできた。リーダーの進行が良かった。
- ・ZOOM であっても顔を合わせて話げできるので良かったと思います。研修中において私自身ビデオを off にしていましたが、参加確認を行うためにも ZOOM 参加の方はビデオを on にしたままで参加してもらう方が良くかと思いました。
- ・グループは、ドクター、ケアマネ、ヘルパー、訪看と色々な職種であり、日々集まって話し合いができないことも多いから、この方法で話げできるのが面白かった。
- ・オンラインでのグループワークも慣れてきたので、スムーズにできたと思う。

### 3 「どちらともいえない」と答えた方

- ・上手く話げできなかった。
- ・やはり顔を合わせての方が話しやすい。
- ・人数が揃っていなかった。
- ・ZOOM に不慣れなため、まだ楽しめるまではいかなかった。
- ・少し話の盛り上がりには欠けた面もあったが、実際に真備での経験があり、医療現場で困ったことの話が聞けた。

## 8 ご意見・ご要望等

- ・良い話げ聞けました。また、病院、訪問看護、訪問介護、施設で勤める方の利用者へ対する思いや、災害が起きた時の行動など情報共有出来て良かったです。災害時には地域の多職種が協力し合う必要があり、連携を図れる関係でいなければならないと感じました。
- ・グループワークのまとめを危機管理室に届けていただきたい。貴重な意見です。
- ・BCP について(災害、感染どちらでも)複数回ひらいてほしい。

- ・研修が少なくなり、年齢も増してきたので、若い方々にもしっかり参加し、知識の共有ができればよいかなと思います。
- ・介護現場の現状(スタッフ不足など)を知っていただいて対策を考えてほしいです。
- ・ケアキャビネットの規模の縮小、あるいはサービス終了となってしまうので、今後の新見版情報提供書の在り方等
- ・依存症について、ひきこもり支援について、生活保護制度について。